

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	自治推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市の自治の基本理念や自治運営の基本原則などを定めた「高松市自治基本条例」に基づき、市民、議会、行政が連携・協力してまちづくりに取り組み、自治を推進することができるよう、周知広報に努めるとともに、自治の運営状況を把握し、検証するため自治推進審議会を開催する。		
3年度概要	高松市自治推進審議会（自治の推進状況及び条例の見直し等の検討） 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	市民（事業者、NPO、通勤通学者等含む）、議会、行政
意図（どのような状態にしたいか）	自治の担い手である市民、議会、行政が連携・協力して地域の個性や自立性を尊重した、市民主体の活力のあるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
審議会等の回数	回	1	1	1	1	1
パンフレット等配布数	部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	施策全体の満足度（市民満足度調査）	%	目標値	28.1	28.4	28.7	29	29
	実績値	24.7	23.6	25.3				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度調査の結果では、施策全体の満足度は25.3%となっており、目標値に対して、88.2%の達成率となった。 (目標達成度)			(達成度) 88.2% 30点				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,599	2,322	2,328	2,336
（事業費）	[円]	244	46	59	67
（職員人件費）	[円]	2,355	2,276	2,269	2,269

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高松市自治基本条例の見直しの有無について、各所属に確認を行ったが、条例見直しの必要性はなかった。また、自治推進審議会を開催し、自治基本条例に基づく自治推進の状況を検証した。今後も、市民主体のまちづくりを推進するため、関連施策を継続して実施する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
自治基本条例に基づく自治推進の関連施策の進捗状況をこれまで通り検証するとともに、若い世代を中心として、自治理念が浸透するよう、効果的な情報発信を行う。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	ファシリティマネジメン
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2262
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ファシリティマネジメント推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の公共施設・公用施設は、老朽化が急速に進展しているが、今後の財政状況を考慮すると、全ての施設を現状のまま維持・更新することはできず、施設の保有総量を削減するなど、施設に係る経費の削減に取り組む。また、公共施設サービスの維持を図るため、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施設の用途転用や共用化による有効活用の促進配置の見直し、複合化、未利用スペースの貸出などに取り組む。
-------	--

3年度概要	非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 FM推進支援専門員報償費及び旅費 システム保守委託料 その他
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	市が保有する全ての公共施設（FM推進基本方針で対象外としている施設は除く）を対象とする。
意図(どのような状態にしたいか)	中長期保全計画等の策定を行い、効率的・効果的な維持保全や長寿命化対策により、適切な維持管理を行うことにより、財政負担の軽減や平準化に努めるとともに、市有施設の保有総量（延床面積）の最適化を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
庁内プロジェクトチーム開催回数	回	9	5	7	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	各種方針・計画等の進捗率	%	目標値	90	95	100	100	100
			実績値	85	95	100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 高松市公共施設再編整備計画は、計画(案)1次～3次を取りまとめて平成30年10月に策定した。今年度は、同計画の進捗管理に努めつつ、国の策定指針の改定に伴う公共施設等総合管理計画の改定に向けた取組を進めていく。	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	56,580	46,965	49,514	57,362
(事業費)	[円]	9,474	5,236	4,142	4,428
(職員人件費)	[円]	47,106	41,729	45,372	52,934

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

公共施設再編整備計画は、計画(案)1次～3次を取りまとめて平成30年10月に策定した。今後は、実施計画の策定を進めていくとともに、公共施設等総合管理計画の改定作業を進めていく中で、財政収支とのバランスに配慮した市有施設の保有総量の目標設定が課題となる。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現に向け、再編整備計画において廃止等の方向性を出した施設については、再編整備実施計画策定に向けた対応を強化するとともに、国の策定指針の改定に伴う公共施設等総合管理計画の改定に向けた取組を進めていく。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	行政改革推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2160
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（行政改革推進室分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の本庁・支所・出張所の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。本庁・総合センター・地区センター（仮称）においては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。

3年度概要

- ・地域行政組織再編計画の推進

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	------	----------	---------


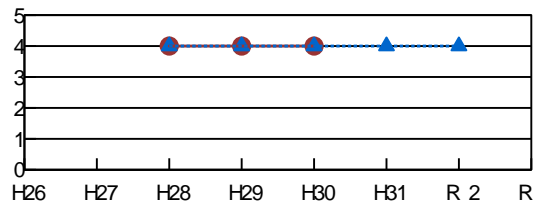

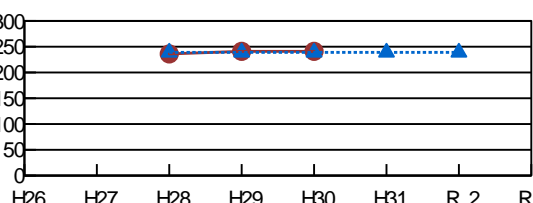
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
総合センターへの移行施設数	箇所	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	4	4	4	4	4
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当初の目標どおり、牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターを、平成29年1月30日にオープンした。  （目標達成度）			 （達成度） 100.0% 35点				
総合センターの取扱業務数	業務	目標値	239	239	239	239	239
		実績値	236	241	241	241	239
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画時の239業務に対し、システム改修により実施困難となった業務及び新規・拡充の位置づけが支所既存に変更された業務がありオープン時には236業務となったが、各課及び総合センターと検討・協議を行い、30年度末時点で241業務となった。  （目標達成度）			 （達成度） 100.8% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,562	6,828	6,806	6,806
（事業費）	[円]				
（職員人件費）	[円]	12,562	6,828	6,806	6,806

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

総合センターの事務取扱件数について、調査を継続している。件数は増加しているが、市民が総合センターの利便性を実感できるよう、今後も取扱事務の検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、市民の利便性が向上するよう、地域行政組織再編計画を推進する。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	地域振興課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2278
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（地域振興課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえ、市民の身近な行政機関である、支所・出張所を構成する地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。「本庁・総合センター」なお、中部総合センター（仮称）においては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。
-------	--

3年度概要	【中部】 美施設等（H30繰越明許含む。） 開発関係工事（H30繰越明許含む。） 埋蔵文化財調査品整理 工事監理
-------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	総合センターへの移行施設数	箇所	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当初の目標どおり、牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターを、平成29年1月30日にオープンした。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	総合センターの取扱業務数	業務	目標値	239	239	239	239	239
			実績値	236	241	241	241	241
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画時の239業務に対し、システム改修により実施困難となった業務及び新規・拡充の位置付けが支所既存に変更された業務があり、オープン時には236業務となったが、各課及び総合センターと検討・協議を行い、30年度末時点で241業務となった。 (目標達成度)							(達成度) 100.8%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	194,894	11,778	154,669	59,506
（事業費）	[円]	163,490	4,191	139,545	44,382
（職員人件費）	[円]	31,404	7,587	15,124	15,124

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

整備に当たり、コスト意識を持ちながら関係者と協議を行った。今後、財源の確保（社会資本整備総合交付金の活用策）、工事費及び将来的な維持管理費の抑制を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

激変緩和措置の支所・出張所の在り方を見直すため、アウトソーシングを検討する。また、施設整備に当たっては、財源を確保できる施設とするため、関係各課と連携しながら推進する。



平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	保健センター
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	839-2363
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（保健センター分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要  
 住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の組織構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。本庁・総合センター・地区センター（仮称）においては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。

3年度概要  
 地域交流センター（仮称）・中部総合センター（仮称）整備実施設計業務委託

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	------	----------	---------


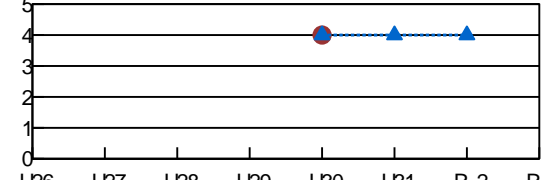

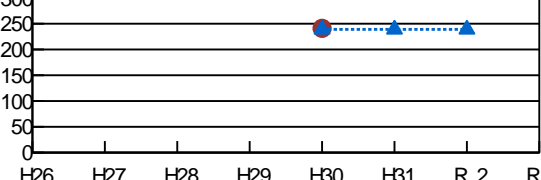
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
整備事業の進捗率（事業費ベース）	%			100	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
総合センターへの移行施設数	箇所	目標値			4	4	4
		実績値			4	4	4
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当初の目標どおり、牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターを、平成29年1月30日にオープンした。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
総合センターの取扱業務数	業務	目標値			239	239	239
		実績値			241	241	239
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画時の239業務に対し、システム改修により実施困難となった業務及び新規・拡充の位置づけが支所既存に変更された業務がありオープン時には236業務となったが、各課及び総合センターと検討・協議を行い、30年度末時点で241業務となった。 		(目標達成度)					(達成度) 100.8% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]			4,470	11,120
（事業費）	[円]			3,714	10,364
（職員人件費）	[円]			756	756

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

実施設計を行う中で、中部総合センター（仮称）内保健センターにおいて幼児健康診査を円滑に行うための施設の配置や設備等を検討した。今後は、健診の実施手順や人員体制を含めた、更に詳細な検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

中部総合センター（仮称）内保健センターでの幼児健診の実施に向け、医師会等関係機関との調整を行うとともに、幼児健診以外の実施事業等についての検討も進める必要がある。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高松版図柄入りナンバープレート導入事業		事業期間	平成30年度～令和2年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市」のシティプロモーションの一環として、本市の魅力をもっとPRするとともに地元高松に対する市民の誇りや郷土愛の醸成を図るため、高松版図柄入りナンバープレートの導入に向けて取り組む。
-------	---

3年度概要	(市民税課)軽自動車税システム改修 図柄入りナンバープレート普及・啓発活動
-------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	地元高松に対する誇りや郷土愛を醸成する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
普及・啓発活動実施回数	回				5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	高松版図柄入りナンバープレート(寄付金あり)の交付枚数	枚	目標値					2,000
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						
	高松版図柄入りナンバープレート(寄付金あり)の交付枚数	枚	目標値					2,000
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]			2,660	8,743
(事業費)	[円]			391	6,474
(職員人件費)	[円]			2,269	2,269

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高松版図柄入りナンバープレートのデザインを国に提案した。提案に当たっては、市民の意向を反映した作品を提案することができた。ナンバープレート交付開始の時期には、周知・啓発が必要である。
---

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

令和元年に、軽自動車システムの改修を行うとともに、広く市民に対し、高松版図柄入りナンバープレート制度を周知・啓発する予定である。
--